

議案 1 平成 31 年度事業計画及び収支予算について

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

1 平成 31 年度事業計画

2019 年 8 月 1 日(木)から 10 月 14 日(月・祝)まで、愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか(四間道・円頓寺)、豊田市(豊田市美術館及び豊田市駅周辺)を会場に、「あいちトリエンナーレ 2019」を開催する。

(1) 現代美術

- ・国際現代美術展

国内外の 60 組程度のアーティストのテーマに沿った作品を美術館やまちなかで展示

- ・映像プログラム

国内外の 10 組程度のアーティストのテーマに沿った映像作品を上映

(2) 舞台芸術

- ・パフォーミングアーツ

国内外の先鋭的な演劇等を 10 演目程度上演するほか、国際現代美術展の参加アーティストによるパフォーマンス、参加型プロジェクトを実施

数演目を集中的に上演するパフォーミングアーツ・フォーカス期間を設定

- ・音楽プログラム

ロックやポップスなどのポピュラーミュージックを新たなプログラムとして追加

美術と音楽の垣根を越えた、祝祭感のある「あいちトリエンナーレ 2019 MUSIC & ARTS FESTIVAL」などの音楽プログラムを実施

(3) ラーニング

- ・アート・プレイグラウンド

「受けとめる、深める、形にする、オーナーシップ」をキーワードとし、子どもから大人まで来場者が互いに学び合い、創造性を楽しむためのプログラムを実施

- ・アーティスト派遣事業

参加アーティストが県内の学校へ出向き、児童・生徒とともに、ダンボールを使った作品制作を探究し、会場に来場者の感性を刺激する公園のような空間を創出

- ・学校向け団体鑑賞プログラム

地域の児童・生徒を対象に、ガイドダンスや作品鑑賞ツアーなどを実施

- ・ボランティア研修

ボランティアを対象に、対話型アート鑑賞の要素を加えた新たな研修を行い、来場者に専門知識がなくても十分に楽しんでいただける環境を整備

- ・トリエンナーレスクール

レクチャーとディスカッションを組み合わせ、参加者同士が相互に学び合える場として、会期中も継続して開催

(4) 連携事業

- ・モバイル・トリエンナーレ

複数の参加アーティストによる短期間の展覧会を、県内 4 か所の文化施設などで巡回展示

- ・舞台芸術公募プログラム

公募により選考した 15 組の地元文化芸術団体等と共催で、舞台公演を実施

- ・芸術大学連携プロジェクト
「アートラボあいち」で、3つの芸術大学（愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学）の学生、卒業生及び一般公募により選考された参加者によるパヴィリオンをつくるプロジェクトを開催
- ・芸術祭等連携事業、連携企画事業、パートナーシップ事業
「あいちトリエンナーレ 2019」と同時期に開催される他の芸術祭、県内の文化事業等と連携して、相互に広報展開を実施

(5) サポート体制

1,000人以上のボランティアによる、会場運営（作品看視等）、ガイドツアー（ツアー形式による作品解説等）の実施

(6) 広報・PR

多言語対応の公式Webサイトや公式アプリ、SNS（ツイッター、フェイスブック等）による情報発信、印刷物（ポスター・チラシ等）の作成・配布、ガイドマップ・オフィシャルグッズの制作・販売、新聞・雑誌・交通機関等への広告出稿等

(7) その他

実行委員会運営会議の開催等

2 平成31年度収支予算

(1) 収入の部

(単位：千円)

科 目	予算額	摘 要
1 事業収入	196,000	国際現代美術展・舞台芸術入場券収入、グッズ販売等
2 負担金収入	823,246	
(1) 愛知県負担金	652,222	
(2) 名古屋市負担金	171,024	
3 広告・協賛金等収入	69,000	企業協賛、国及び各種文化財団等の助成金等
4 諸収入	1	受取利息収入
収入の部 合計	1,088,247	

(2) 支出の部

(単位：千円)

科 目	予算額	摘 要
1 事業費	1,069,765	
(1) 現代美術	657,186	作家関連費、展覧会開催経費、まちなか会場管理支援費
(2) 舞台芸術	220,297	劇場等での公演経費、音楽プログラム公演経費等
(3) ラーニング	26,649	ワークショップ等開催費、普及教育資料作成配布等
(4) 連携事業	97,534	モバイル・トリエンナーレ開催費、その他連携事業経費
(5) 広報・PR	68,099	各種広報PR活動
2 管理費	4,256	運営会議開催、事務機器リース等
3 予備費	14,226	
支出の部 合計	1,088,247	